

## 『市長と“みらい”を語る集い』開催

絹の台、西ノ台地区の方を対象に6月29日『市長と“みらい”を語る集い』を開催しました。

会場となった小絹コミュニティセンターには、約50人の方が訪れ、今後のつくばみらい市のまちづくりについて、ご提案ご提言をいただきました。

懇談会でご提案ご提言いただいた内容をお知らせします。

**女性** 市内の各学校に専任の図書館司書を配置していただきたいと思っています。なぜなら、図書館司書の方は、知識の宝庫であり生きているデータベースだからです。あらゆる知識を持ち、子どもたちにこんな資料が必要ではないかと提案したり、先生

方にこんなものはないかと聞かれた時、即座に答えることができます。そのようなことがあって学習環境というものは整っていくと私は思っています。そのような環境を整えば、子どもたちはどんどん本が好きになり、学力が必然的に上がるといった相乗効果が生まれてくると思います。

**男性** このつくばみらい市で育った子どもたちが、自信を持って働ける場所をつくっていただきたいです。今、全国でも同じ問題を抱えているところは多いと思いますが、地元で育った子どもたちが、大学入学や就職をする、ほかの地域に行ってしまう、育った地域に定着してくれません。結果的に高齢者だけが残ってしまう。そうならないような仕組みを、20年、30年の計画で作っていただきたい。今、このつくばみらい市には、全国から集まった知恵者がたくさんいらっしゃいます。また、いろいろな経験をされています。そのような人たちの知恵を借りながら、新たな仕組みをつくるプロジェクトを、つくばみらい市計画の中に取り入れていただきたいと思います。

市長に提言を行う参加者



つくばみらい市の将来像を述べる片庭市長

## 人権擁護委員表彰

市人権擁護委員の豊島氏、渡邊氏が受賞

このたび、市人権擁護委員の豊島美智子氏（板橋）が法務省人権擁護局長表彰を、渡邊茂男氏（下小目）が茨城県人権擁護委員連合会長表彰を受賞されました。

二人は、人権擁護委員として永年にわたり、つくばみらい市において、人権相談、人権教室、人権啓発運動など、さまざまな

人権擁護活動に尽力されておられ、その功績が認められました。

人権擁護委員は、国民の日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していくという考えから設けられたものです。本市においては、4人の人権擁護委員が日々、普及活動を行っています。毎月1回開設している「人権相談所」および電話にて、人権に対する相談をはじめ、身の回りの困ったことや、心配ごとについても受け付けています。プライバシーは厳守されますので、お気軽にご相談ください。

## つくばみらい市をPR

茨城県人会連合会

首都圏で活躍する本県出身者で組織する、茨城県人会連合会の懇親会が7月6日、都内で開催されました。

懇親会には、各界で活躍する本県関係者約500人が参加しました。会場内には、県内の市町村が出展ブースを設け、それぞれにPRを繰り広げました。



つくばみらい市産農産物をセールス

つくばみらい市のブースでは、片庭市長がハッピー姿で先頭に立ち、来場者に市産コシヒカリで作った太巻きや手巻き寿司、市名産のミニトマト、市商工会特産品推奨商品などの試食試飲を勧めながら、つくばみらい市産物のおいしさ、安全性をPRしました。来場者からは「トマトが甘くて、とても美味しい」など、たくさんの方の好評のコメントをいただきました。



▷表彰を受けた渡邊さん（左）、豊島さん（右）